

改訂日 2021/07/07(02)

作成日 2020/12/16(01)

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	FilmArray呼吸器パネル2.1-サンプルバッファー
製品コード	423742
供給者の会社名称	ビオメリュー・ジャパン株式会社
住所	東京都港区赤坂二丁目17番7号赤坂溜池タワー2階
担当部門	薬事部
電話番号	03-6834-2666
FAX番号	03-6834-2667
Website	<a href="http://www.biomerieux.co.jp/">http://www.biomerieux.co.jp/</a>
推奨用途	診断用

2. 危険有害性の要約  
化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分2
環境有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 水生環境有害性 短期(急性) 区分1 水生環境有害性 長期(慢性) 区分1 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

## GHSラベル要素

## 絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H302 飲み込むと有害 H315 皮膚刺激 H318 重篤な眼の損傷 H400 水生生物に非常に強い毒性 H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
注意書き	
安全対策	環境への放出を避けること。(P273) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
応急措置	飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312) 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P332+P313) 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P337+P313) 漏出物を回収すること。(P391)

## 3. 組成及び成分情報

## 化学物質・混合物の区別

## 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
塩酸グアニジン	50-60%	不明	(1)-215, (2)-1773	既存	50-01-1
Triton X100	10-20%	不明	不明	不明	9002-93-1
物質(その他)	30-40%	不明	不明	不明	不明

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
呼吸が困難な場合、酸素が必要となる場合がある。呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

## 皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚に少量付着した場合、付着していない皮膚に広がらないようにすること。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

## 眼に入った場合

直ちに多量の流水で15分以上目を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。

## 飲み込んだ場合

直ちに医師／中毒110番に連絡すること。  
口をすすぐこと。  
中毒110番の助言なしに無理に吐かせないこと。  
嘔吐が起きた場合には、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げること。

## 5. 火災時の措置

## 適切な消火剤

粉末消火薬剤、泡消火薬剤

## 使ってはならない消火剤

棒状水。

## 火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。  
通常の消火手順に従う。火災の影響を受ける他の物質の危険性も考慮すること。

## 特有の消火方法

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

## 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服、防災服、耐火服を着用すること。  
呼吸用保護具を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

## 環境に対する注意事項

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

## 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。  
多量の場合、可能な場合は漏出物をせき止める。吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ容器に回収する。取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。

少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。

漏出したものを再使用のために元の容器に戻してはならない。

7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 十分に換気すること。
	安全取扱注意事項	ミスト／蒸気の吸入を避けること。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 環境への放出を避けること。 産業衛生に気を配ること。
保管	接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
	安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。
	安全な容器包装材料	他の物質から離して保管すること。 元の容器に密閉して保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置		
設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸用保護具	必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
	手の保護具	ニトリル製保護手袋を着用すること。
	眼、顔面の保護具	保護眼鏡、保護面を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		液体
形状		液体
色		無色透明～殆ど無色
臭い		データなし
融点／凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点		データなし
範囲		
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限 下限		データなし
界／可燃限界	上限	データなし
引火点		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配		データなし
係数		
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。

化学的安定性 危険有害反応可能性		通常の条件下では安定である。 一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物		混触危険物質との接触。 強酸化剤 危険有害な分解生成物は知られていない。
11. 有害性情報		
急性毒性(経口)		飲み込むと有害
皮膚腐食性/皮膚刺激性		皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性		重篤な眼の損傷
呼吸器感作性		データ不足のため分類できない。
皮膚感作性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		データ不足のため分類できない。
生殖毒性		データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回 ばく露)		データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復 ばく露)		データ不足のため分類できない。
誤えん有害性		動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性 短期 (急性)	サンプルバッファー	水生生物に非常に強い毒性 魚類(魚) 96時間LC50 : 401.3714 mg/L
	Triton X100	魚類(魚) 96時間LC50 : 18.6667 mg/L(推定) 魚類(ブルーギル) 96時間LC50 : 2.8-3.2 mg/L
水生環境有害性 長期 (慢性)		長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
生態毒性		データなし
残留性・分解性		データなし
生体蓄積性		データなし
土壤中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		製品の残余物が残っている可能性があるため、容器が空になった後もラベルの警告に従うこと。 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
汚染容器及び包装		
14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報	IMOの規定に従う。
	UN No.	3082
	Proper Shipping Class	環境有害物質(液体) 9
	Packing Group	III
	Marine Pollutant	Not applicable
	Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	Not applicable
	航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。

	UN No.	3082
	Proper Shipping Class	環境有害物質(液体) 9
	Packing Group	Ⅲ
国内規制	陸上規制	非該当
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	3082
	品名	環境有害物質(液体)
	クラス	9
	容器等級	Ⅲ
	海洋汚染物質	非該当
	MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	国連番号	3082
	品名	環境有害物質(液体)
	クラス	9
	等級	Ⅲ
緊急時応急措置指針番号		171
15. 適用法令		
労働安全衛生法		非該当
毒物及び劇物取締法		非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)		第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) ポリ(オキシエチレン)＝オクチルフェニルエーテル(政令番号:408)(Triton X100)
外国為替及び外国貿易法		輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)
船舶安全法		有害性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法		その他の有害物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)		特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)
16. その他の情報		
連絡先		【臨床製品 問い合わせ先】0120-265-034
参考文献		NITE-CHRIP(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム) JIS Z 7253 :2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS) BioFire Diagnostics, LLC 製品SDS(2021-03-01) ezSDS
その他		記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものです。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。